

LIGA. i ブラインドサッカー トップリーグ 2022 の開催について

1. 目的

東京 2020 大会終了後も引き続き品川区でブラインドサッカーの公式戦を開催し、区民との交流を通じて競技の認知度向上および障害者スポーツへの理解の促進を図るとともに多様性への理解の浸透を推進する。

2. 大会概要

新設されたトップリーグ「LIGA. i」第2節を区内で実施する。

全国で実績があり、かつ出場条件を満たした4チームのみが参加し、海外の代表チームも招聘するなど、より競技レベルの高いチームによる大会であり、全席有料化となっている。

大会名称： Shinagawa LIGA. i ブラインドサッカー トップリーグ 2022

日 程： 令和4年7月24日（日）

場 所： 区立総合体育館アリーナ

参加チーム： パペレシアル品川 、 埼玉 T.Wings、
free bird mejirodai 、 buen cambio yokohama

対戦カード： 11:00～ パペレシアル品川 vs 埼玉 T.Wings
13:30～ free bird mejirodai vs buen cambio yokohama
16:10～ エキシビジョンマッチ
(パペレシアル品川 vs タイ代表チーム)

3. その他

- ・観戦ツアーの実施
- ・区民割チケットの販売有



一つ先の、新リーグはじまる。

第2節 Shinagawa

LIGA.i

BLIND SOCCER® TOP LEAGUE 2022

主催：NPO法人日本ブラインドサッカー協会 特別共催：品川区(※2)

1st 11:00 kickoff

Papezial SHINAGAWA



SAITAMA T.Wings

2st 13:30 kickoff

free bird mejirodai



buen cambio yokohama

7/24

SUN kickoff

Shinagawa City General Gymnasium

(日) 品川区立総合体育館(東京都品川区)

LIGA.i 開催にあたって

ブラインドサッカーはパラスポーツだ。

そう決めつけていないだろうか。

この競技が持つ無限の可能性に

ふたをしていないだろうか。

視覚障がい者と健常者が混ざり合う。

だからこそ、私たちはきっと、もっと先へ行ける。

ブラインドサッカーは新たなステージへ。

LIGA.i 開幕。

一つ先の、新リーグはじまる。

この10年間で、日本のパラスポーツ界の環境は大きく変化しました。

2013年に東京パラリンピックの開催が決定して以降、日本国内ではパラスポーツの注目度は高まっていきました。パラスポーツの大会やイベントが盛んに開かれ、メディアや広告でもパラアスリートを目にした方が多かったです。

東京2020パラリンピックは、新型コロナウイルス感染拡大による1年の延期を経て、2021年に無観客で開催されました。多くの方がパラスポーツに関わったこの10年間、パラスポーツは社会にどんな変化を起こすことができたのでしょうか。そして、東京2020パラリンピックが社会に残したものはあるのでしょうか。

「パラスポーツの魅力を感じられた」「パラスポーツの選手の凄さを感じられた」「多くの方がパラスポーツの大会を観に来るようになった」そんな声があがる一方で、このような声を聞くことも少なくありません。「ブラインドサッカーはパラスポーツだから、サッカーには敵わない」「私はプロのアスリートではないから」「パラスポーツの大会で、このくらいお客さんが来てくれれば上出来」パラスポーツの限界。

プレーする選手たちやクラブチームも、大会運営をする競技団体も、そして社会も、無意識に現状に満足してしまっているのではないのでしょうか。私たちは、パラ

スポーツが持つ無限の可能性に蓋をしてしまっているのではないのでしょうか。

JBFAが目指す「視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会」を実現するためには、選手・クラブチーム・競技団体・ファンそれぞれが、無意識に決めてしまっている「パラスポーツの限界」を超えていかなければなりません。

日本のブラインドサッカーが新たなステージへ挑戦するときが来ました。

ブラサカ初のトップリーグ・LIGA.i(リーガアイ)の設立

近年のブラインドサッカーの盛り上がりにより、2003年には4チームだった国内のクラブチームは31チームに増え、チーム・選手たちの価値観も多様化しています。競技志向のチームもあれば、エンジョイ志向のチームもある。積極的に広報活動をしたいチームもあれば、誰もが安心して参加できるような環境づくりを重視したいチームもある。全国的な大会に参加したいチームもあれば、地域での活動を最優先とするチームもある。それらの多様化したニーズに応えるために、2022年にIBFAは国内大会のフォーマットを再編します。

そこで新設するのが「LIGA.i ブラインドサッカートップリーグ」です。今年この大会に出場するのは、競技力(過去大会の戦績)・組織力(練習の開催頻度やメンバーの人数)などの出場条件を満たした4チーム(埼玉T.Wings、free bird mejirodai、パペレシアル品川、buen cambio yokohama)です。競技レベルの高い4チームによる戦いは、どの試合も激戦となること間違いありません。試合は国際競技規則に遵守した形式で行い、ブラサカ日本代表の強化にも資する大会となります。さらに、LIGA.iでは興行性を重視していきます。有料チケット販売をすると同時に、これまでのパラスポーツにはなかった会場演出で非日常な空間をつくりだします。満員のスタンド。ピッチで繰り広げられる国内最高峰のプレー。選手たちに思い切りスポットライトを当てながら、会場にいる全員でつくりあげる一体感。ブラインドサッカーを、視覚障がい者と健常者が混ざり合う、最高のエンタメにしていきます。

選手たちが誇りを持ってプレーできるトップリーグに。子どもたちが憧れるトップリーグに。ファンが思いっきり楽しめるトップリーグに。日本のパラスポーツ全体を引き上げるトップリーグに。「LIGA.i」で新しいブラサカシーンをつくる。一人ひとりが、LIGA.iで変わる。パラスポーツの限界を、一人ひとりの「I」が超えていく。「LIGA.i」でブラインドサッカーにしかできない社会変化を起こす。視覚障がい者と健常者が「当たり前に」混ざり合う社会へ向けて、LIGA.iは、ブラインドサッカーと社会の距離をぐっと近づけていく。

一つ先の、新リーグはじまる。

ブラインドサッカーとは？

「ブラインドサッカー」「ブラサカ」は、いわゆる「見えないサッカー」。ゴールキーパー以外の4人のフィールドプレイヤーは全盲の選手で、アイマスクを装着し、音の出るボールを用いてプレーします。パラリンピックの種目名は「5人制サッカー/Football 5-a-side」。暗闇の中、選手たちは視覚以外の感覚を研ぎ澄ませ、仲間の声や音を頼りにピッチを駆け回ります。フィールドプレイヤーの視覚障がいとゴールキーパーの弱視者もしくは晴眼者が同じフィールドに立ち、障がいのある人もない人も混ざり合って闘うスポーツです。

※ 競技普及のため国内大会では晴眼者もアイマスクをすることでフィールドプレイヤーとして試合に出場できます。



開催日程

LIGA.i 2022 第1節:7月18日(月・祝)

浜松アリーナ(静岡県浜松市)



Shinagawa LIGA.i 2022 第2節:7月24日(日)

品川区立総合体育館(東京都品川区)

KPMG LIGA.i 2022 第3節:9月23日(金・祝)

フクシ・エンタープライズ墨田フィールド(東京都墨田区)

大会事務局問い合わせ先

特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 ベアーズビル3階

TEL: 03-6908-8907 FAX: 03-6908-8908 MAIL: taikai@b-soccer.jp



最新情報をチェック!



メールマガジンの
登録はこちらから



ブラサカ
みらい
パートナー

